

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	27,371千円	30,980千円	32,154千円	0千円
総人件費	7,623千円	7,455千円	7,482千円	
総事業コスト	34,994千円	38,435千円	39,636千円	

部等名	課等名	係等名
科学技術振興部	つくばイノベーションプラザ	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	31	つくばイノベーションプラザに要する経費

事務事業名	01	つくばイノベーションプラザ管理・運営事業	指標名				指標種別		活動結果指標		指標の概要				
			つくばイノベーションプラザ来館者数	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-	-	-	-	40,000人	42,000人	25,000人	26,000人	27,000人	28,000人	つくばサイエンス・インフォメーションセンターへの来館者の1年間の総数及びH28.4つくばイノベーションプラザ来訪者数を参考に計算。				
総合戦略	-	-	-	-	42,238人	42,799人	-				その他の指標 なし				
個別計画	-	-	-	-	H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくばイノベーションプラザ条例				改善目標	科学技術の情報発信拠点として機能を充実させていくとともに、平成27年度にオープンする(仮称)総合インフォメーションセンター及びシティ・プロモーション拠点の動向を鑑みつつ、研究機関の研究成果を広報する企画展等を推進し、来館者に施設をPRしていく。				改善目標	・インフォメーション機能を「つくば総合インフォメーションセンター」に移管する。 ・「つくばイノベーションプラザ」に改変し、筑波研究学園都市における研究開発の成果の活用及びこれによるイノベーションの創出を支援していくとともに、会議室の貸出を継続する。				
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	筑波研究学園都市の成り立ちに係る情報提供 市内試験研究機関の科学技術に係る情報提供 市勢情報提供 来館外国人に対する情報提供 交流サロン及び会議室貸出 ちびっ子博士主催講座の実施(3回)				事業計画	イノベーションの創出等の支援 研究者等の連携又は交流の推進 外国人に対する情報の提供 筑波研究学園都市に関する問合せに対する情報の提供 施設及び附属施設の提供				
執行体制	一部委託				活動実績	主催講座(ちびっ子博士インフォメ特別講座)の実施(3回) 参加者67人 共催事業(NIAS(農業生物資源研究所)オープンカレッジ)の実施(7回) 参加者142人				上半期活動実績	-				
事業の目的	・試験研究機関等が集積する我が国最大規模の筑波研究学園都市に関する情報を発信するため ・筑波研究学園都市における研究開発の成果の活用及びこれによるイノベーションの創出を支援し、もって科学技術及び産業の振興、国際化の推進に資するため				成果	自主講座や共催事業を開催し、利用拡大に努めた結果、来館者は、順調に伸びている。				上半期成果	-				
事業の概要	市内に集積する試験研究機関の科学技術に係る情報を来館者に提供するため 市勢情報を来館者に提供するため 来館外国人に情報を提供するため 広く来館者に交流サロン及び会議室を提供するため 研究者の連携又は推進の場を提供するため				課題	・インフォメーション機能の「つくば総合インフォメーションセンター(BiVi内)との棲み分けと今後の運営の在り方				課題	-				
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-	
評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				評価	有効性	-				H29年度の方向性	-	理由	-
	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している					効率性	-							
	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施					総合評価	-							